

平成 28 年度 協働パイロット事業審査委員会 審査結果講評

平成 28 年 6 月 8 日

平成 28 年度の協働パイロット事業では、200 万円に拡大した予算の範囲内で、1 事業当たりの予算枠を設けずに企画提案を募集しました。

本年度は、延べ 15 団体から 15 件の企画が提案されました。これは、過去最多の提案数であり、本市の協働意識の高まりを実感しました。

さて、協働パイロット事業における審査では、次の 6 点について評価を行いました。

- (1) 市民ニーズや社会的課題を適切に把握しているか。
- (2) 協働にふさわしい事業か。
- (3) NPO の先駆性・創造性を活かした事業か。
- (4) 実行性が十分に感じられるか。
- (5) 予算の見積りは適正か。
- (6) 本格実施（継続実施）への発展性が見込める事業か。

協働パイロット事業は試行的な協働事業ですが、これをきっかけに本格的、継続的な事業への移行を目指すものであるため、「(1) 市民ニーズや社会的課題を適切に把握しているか」に加え、「(2) 協働にふさわしい事業か」、「(6) 本格実施（継続実施）への発展性が見込める事業か」について、特に重点を置いて評価をしました。

提案された 15 件の企画を審査し、「協働パイロット事業にふさわしい」と判断した以下の 6 件を平成 28 年度協働パイロット事業として採択するよう市に提案しました。

1 『事業所による継続的な授産製品販売店舗 P R 活動のための基盤整備事業』

cocore (ココワ)

2 『とめよう 地球温暖化 講座 小学校 生涯学習センターでの活動』

特定非営利活動法人グリーンエネルギーしずおか

3 『放任竹林の竹粉を活用した生ごみ減量化プロジェクト』

特定非営利活動法人丸子まちづくり協議会

4 『高校生×社会人「高校生記者が創る静岡オトナ図鑑」～私たちが選ぶ静岡の先輩・ロールモデルブックの作成について』

きやりこみゆ²

5 『地域の子育て、みんなで作る「子ども食堂」』

静岡市子ども食堂ネットワーク

6 『「デートDV」啓発 P V 制作プロジェクト』

特定非営利活動法人ルークス

【審査委員講評】

◎『事業所による継続的な授産製品販売店舗PR活動のための基盤整備事業』《採択》

cocore（ココワ）

障がい者が作る授産製品が売れにくいという課題の解決につながる可能性が高く、Facebook を活用することで、PR 効果が期待される点を高く評価しました。また、施設での活動は閉鎖的な傾向にあるため、本提案による外部からの刺激が、施設職員の意識改革につながる可能性がある点についても実施の意義があると判断しました。

一般に広報媒体は、作成後しばらくすると更新頻度が下がるケースが少なくないため、媒体の活用が定着し、広報の効果が実感できるまで継続的に事業を実施していただきたいと考えます。専門的なスキルを持つスタッフの皆様の力を最大限に発揮し、授産製品の売り上げアップにつながることを期待します。

◎『とめよう 地球温暖化 講座 小学校 生涯学習センターでの活動』《採択》

特定非営利活動法人グリーンエネルギーしずおか

地球温暖化を始めとする環境問題に対する意識啓発活動の重要性を捉えており、大変効果的な事業であると考えます。すでに富士市や富士宮市において事業を実施しており、実効性や社会的ニーズがあることが確認されている点も高く評価しました。

専門的な知識を持つスタッフによる確立されたプログラム運営もさることながら、「生活ボックス」、「2℃までピンポン」などのツールを活用したワークショップを通じ、遊びながら学ぶことができる点にも事業の有効性を感じました。ぜひ、充実したプログラムを実践していただきたいと思います。

◎『放任竹林の竹粉を活用した生ごみ減量化プロジェクト』《採択》

特定非営利活動法人丸子まちづくり協議会

放任竹林の増加による環境への悪影響について理解した上で、放任竹林と生ごみの減量を狙うことができる一石二鳥の企画を提案していただきました。貴団体の環境部会スタッフの実行力と、市の力を合わせて竹の伐採、竹チップの作成及び配布、家庭での竹チップ活用の仕組みづくりを進めていただきたいと思います。

本事業は、放任竹林に関する活動をしている他団体に対しても良い事例となり得ます。ぜひ、活動を広く知らせて、竹林の問題解消に対して市民全体で取り組む事業のモデルケースとしてください。

◎『高校生×社会人「高校生記者が創る静岡オトナ図鑑」～私たちが選ぶ静岡の先輩・ロールモデルブックの作成について』《採択》

きやりこみゆ²

人口減少、自己有用感の低下、身近なロールモデルの必要性について、具体的な数値に基づいた課題認識がされており、市が抱えている課題を協働して解決しようという意図が伝わる企画提案でした。また、これまでの活動実績や経験から解決方法が提示されていることから、実行性が十分感じられることも高評価につながりました。

人口減少と自己有用感の低下という課題に対する効果を高めるには、「ロールモデルとなる先輩社会人」の人選が重要であると考えます。専門的なキャリアやノウハウを持つ貴団体スタッフのサポートのもと、効果的な協働事業に発展させていただければと思います。

◎『地域の子育て、みんなで作る「子ども食堂」』 <採択>

静岡市子ども食堂ネットワーク

「子ども食堂」を単に貧困対策として捉えるのではなく、子育て支援として広く捉えている点について、ニーズ把握力の高い企画提案であると感じました。また、対象者に高齢者や親も含んでいることから、子どもを通じて地域ネットワークの形成を図ることができる点についてNPO特有の先駆性を感じます。

本企画提案は地域の居場所づくりとしても大変期待される事業です。市内には居場所づくりの観点から子ども食堂を開催する団体が他にもあり、様々な考え方や手法があるようです。この機会に市との協働のあり方を含め、他の団体との協働も視野に入れた事業展開についても検討を重ねていただければと思います。

◎『「デートDV」啓発PV制作プロジェクト』 <採択>

特定非営利活動法人ルークス

大変深刻な社会的課題でありながら、デートDVに関する正しい認識が不十分である現状に課題を見出し、啓発を行う企画提案がされました。DV（デートDV）に対する課題意識が強く、明確であることから社会的課題の適切な把握という点を高く評価をしました。

特に、若年層をターゲットとした啓発PVを作成するという事でアニメーションを活用するアイデアや、不特定多数の人の目につく仕組みとしてオートプレイ方式を盛り込む意向もよいと思います。

【付帯意見】 DVに関する問題は非常にデリケートです。事業所管課との協議を十分に重ね、内容や表現について慎重に吟味した上で、PVを制作してください。

【注記】

今回採択された上記6件の協働事業は、審査を経た上で、2年間の継続実施が可能となっています。翌年度の継続実施を検討する際には、「パイロット（試行的）事業から本格実施へと発展できるかどうか」という点に重点を置いてください。

●『障害者の地域貢献～本を通しての子供・障がい者ほほえみプロジェクト～』

<不採択>

特定非営利活動法人きのぼり

障がい者による児童書、絵本のメンテナンスという企画提案は、障がい者と図書館の双方にメリットがあり、協働パイロット事業として実施する価値は高いと評価しました。

しかし、具体的な実施計画や図書館との役割分担についての検討が十分でなかったことから、今回は次点となり事業採択には至りませんでした。

今後、事業の詳細を図書館と検討し、役割分担や事業の仕組みを明確にすることで実現性を高められると感じています。今回の企画提案に磨きをかけ、障がい者の就労支援の可能性を広げていただければと思います。

●『災害避難時、排泄に待たなし！！うしづま冒険遊び場「竹チップ利活用～防災トイレ作り講習会」』<不採択>

かるがもレスキュー

うしづま冒険遊び場における防災体験の一環として、竹チップを活用した防災トイレ作りをするという企画提案は、防災対策への関心を高めるための貴団体の工夫に独創性を感じます。また、災害時のトイレ対策に関する意識啓発にも効果があると考えます。

ただし、竹チップの確保、保管の方法や事業所管課との連携の取り方について検討を要する点があったため、実行性に関する評価が厳しいものとなりました。

今回は事業採択に至りませんでした。自然体験学習と防災体験を行う貴団体の活動は大変貴重であり、今後も継続していかれることを期待します。

●『「日本平学園 大人の部」』<不採択>

いきもの企画

日頃、動物園に行く機会の少ない大人をターゲットとし、動物園を教育の場として活用するという理念に共感しました。また、動物マニアを招き講座やパネルディスカッションを行うという企画提案は興味深く、貴団体にしかできない独創性あふれるものである点について、高く評価しました。

しかし、一定の需要はあるもののマニアに向けた企画提案が市民ニーズにつながるか、という点について疑問があったため、社会的課題の把握に関する評価が厳しいものとなりました。

貴団体の動物たちに対する愛情と、これまでの活動実績は大変素晴らしいものであるため、今後も動物園の利用促進や団体のミッションを達成するための活動に取り組んでいてください。

●『児童虐待防止事業』<不採択>

子ども虐待防止センター・しずおか

児童虐待の相談件数は増加の一途をたどっており、歯止めをかけるための電話相談事業や啓発活動は非常に大きな意味を持っています。企画提案に対する社会的課題の把握について、委員全員が共感したため高く評価しました。

しかし、事業計画について、従前どおりの事業内容であることから先駆性に欠けており、協働のふさわしさ、予算適正性についても厳しい評価となりました。

貴団体の活動は、社会において必要不可欠な尊いものであるため、市の関係各課と協議の上、協働して取り組める新しい事業の実施を目指していただきたいと思います。

●『竹の魅力再発見“バン部一”始動!』<不採択>

清水おやこ劇場

竹を活用した環境教育、情操教育を実施する企画提案は、歴史と実績のある貴団体の強みを活かした独創性のあるものと高く評価しました。

しかし、放任竹林問題の解決という観点からみると、直接的な効果が高いとは言い難いため厳しい評価となりました。

短期的な効果を見込むことは難しいものの、竹の魅力や放任竹林の課題を伝えるプログラムとしては先駆性があり、長期的に実施することで有効な事業となる可能性を感じました。これを機会に、市の関係各課との関係性を強化し、今後の団体の活動に本企画提案のアイデアを取り込んでいただければと思います。

●『世界文化遺産構成資産の海辺の安全確認』<不採択>

特定非営利活動法人静岡県ライフセービング協会

三保松原が世界文化遺産構成資産に登録されたことを受けて増加する観光客や、海水浴場以外の場所で水遊びをする人がいる現状について、専門家としての課題意識を強く感じる企画提案であり、社会的課題の把握について評価しました。

しかし、課題解決に向けた効果が図りにくいこと、また、市との協働だけでは課題解決が難しいこともあり、厳しい評価となりました。

「誰もが安心・安全に水辺で楽しむことができる環境づくり」に対する想いと、課題の提示は非常に価値があります。今後も水辺の事故防止のスペシャリストとして、貴団体にしかできない事業に取り組んでいただければと思います。

●『大切なわたしを考える会へ「ようこそ」…ありのままの私を取り戻すワークショップ…』<不採択>

考える会「ようこそ」

本企画提案は、「目に見えない暴力」、「声を上げることができないDV被害者」といった

重大な課題の解決を目指す尊い事業であり、その内容の重要性については審査委員全員が共感するものでした。

しかし、事業計画について、貴団体の従前どおりの活動の実施が示されていたため、市との役割分担が不明瞭であり、協働のふさわしさに関する評価が厳しいものとなりました。

DVに関する問題は非常にデリケートであり、一步踏み出すことも難しいと感じる人が多いと考えます。そのような人の助けとなる大切な活動を今後も継続して実施していただけることを期待します。

●『お手玉がつなぐ、わらべうたが育む、地域の笑顔(^_^)ニコ♪』<不採択>

特定非営利活動法人ふじのくにハーモニー

お手玉やわらべうたを活用した高齢者の生きがいづくりを目指す本企画提案は他に例を見ないものであり、NPOの独創性を強く感じる内容でした。また、すでに中学校との打ち合わせも行っており、実行可能な状態であることも評価できます。

しかし、協働事業としての内容が不十分であり、市と協働実施する理由について明確な説明がされなかったこと、予算の見積に妥当性が示されていなかったため、評価が厳しいものとなりました。

貴団体の活動は独自性が強く、他団体には真似することができない特長があります。今後もその強みを活かし、地域の絆づくりに貢献していただければと思います。

●『地域発信「清沢月待ち朗読祭の里」』<不採択>

清沢 reading-live スタッフ

放任竹林問題に着目し、切り出した竹を用いて、あずまやを建設し、団体の事業である月待ち朗読祭のシンボルにしようという企画提案は興味深く、NPOとしての独創性を評価しました。

しかし、放任竹林問題の解決という観点からみると直接的な効果が高いとは言い難く、また、あずまや建設に関する予算見積や、竹材の確保、維持管理という点について計画性に欠けると判断したため、厳しい評価となりました。

今回は市との協働事業としての採択には至らなかったものの、月待ち朗読祭にユニークなアイデアを取り入れて、今後も貴団体独自の活動を継続実施していただければと思います。